



3大会ぶり2回目の優勝を飾ったアンテロープ塩尻

アンテロープ塩尻 優勝

少年サッカー 市民タイムス・カガミ杯

第35回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ(市民タイムス、松本市サッカー協会主催、カガミグループ協賛)は14日、松本市のサンプロアルウィンで決勝を行い、アンテロープ塩尻が優勝を果たした。第32回大会以来、2回目の栄冠となった。

アンテロープは3連覇を狙った松本山雅FCを破り決勝に進出。FCセタクとの一戦は、先手を取って折り返し、同点弾を許しながら直後に勝ち越して2-1で押し切った。

最優秀選手賞にはアンテロープの樋口修也選手が輝き、セタクの竹村篤人選手が優秀選手賞に選ばれた。試合後の閉会式で、大会長の新保裕介・市民タイムス社長は「信州のサッカーの聖地でプレーできた経験は大きい」と健闘をたたえた。

最終日は上位に進出したチーム同士の戦いであって、イメージを共有した攻撃やボール争奪の局面での厳しさ(肥後健一)

試合結果・関連記事 24面